















の挑戦



問合先 産業共創課☎(275)

6149

守りたい。」「地域の人々が再び海とのつ

然を蘇らせ、大阪最北端の天然の砂浜を

「時代の変遷の中で失われつつある自

砂浜活性化プロジェクトで の実現をめざします。 **環境の緑化など(環境)が共生**するまち

工場誘致など経済の活性化

(経済) と住

ジェクトは、環境保護への意識を高め

そんな思いから始まった砂浜活性化プロ

ながりを感じられる場をつくりたい。_

生まれ変わっていく砂浜



や市民の力でますます活気を取り戻しつ

このプロジェクトは、

地域の民間団体

経済と環境の共生をめざす 高石市の砂浜を未来に残し

ずか約10メートルを残すのみとなってい せていました。しかし、高度経済成長期 が訪れる人気スポットとして賑わいを見 の臨海部の埋め立てにより、現在ではわ 市の砂浜は、 明治時代には関西一円から海水浴客 かつて百人一首にも詠ま

ます。

キジハタとナマコの放流

キジハタの稚魚を放流することで、個体数 の増加と将来的な漁獲量の安定化をめざしま す。また、ナマコは海底の有機物を摂食して 水質を改善します。





海のゆりかご「アマモ」の移植

生き物の安らぎの場となり、海の環境を整 えてくれるアマモ。イベントでは、大阪湾で アマモ場の再生に取り組んでいる NPO 法人大 阪海さくらと共催で、アマモの移植を実施し ました。また、「地球☆プロテクトとあるた」 によるマイクロプラスチックごみをテーマと した寸劇も披露されました。





アマモ

地球☆プロテクトとあるた

これからの砂浜について考える ワークショップ

イベントの来場者に「今後の高石の砂浜を どうしたいか?」を伺い、意見を集めました。 「昔のように泳ぎたい」「うみがきれいになっ たらうれしいよ」など、たくさんの意見をい ただきました。















高師浜「泳げますように」

寒石 清掃や稚魚放流 活性化へ



クショップも開催。 「カニ取りをしたい」など

タの稚魚や水質を浄化す るナマコを次々と放流し

来場者に意見を募るワー

「毎日新聞社提供」

フラスチックの袋やびん

た。

続く第二弾では、キジハタとナマコ

の

放流や来場者に意見を募るワー

大阪湾に住む生き

場が設けられ、

参加者も約30名に増えま

た。さらに第三弾では、

アマモの移植

ショップ等を通して砂浜の未来を考える

海業の活性化や民間事業者の誘致展開を を学びました。 で幅広い世代が集まり、 やマルシェ等を実施。こどもから大人ま め、 今後も公民連携でイベントを開催 新たな賑わいを創出していきます。 砂浜の環境保護

イベントが あるらしいよ (詳細は P4



10名が参加し、 つあります。 第 砂浜清掃活動を実施。 一弾のイベントでは、 来 約

場者一人ひとりの思いが一つになりま



6/28

10:00 ~

※小雨決行

※お車でお越しの方はお近くの コインパーキングをご利用く<mark>ださい</mark> 内容は変更になる場合があります。



高 石夜市実行委員会に

工

会

に ょ

よる

高石漁港内砂浜

大阪最北端の天然砂浜 緒に盛り上がりま せ こんか?

お魚クイズ大会 大阪

飯

塗り絵で作る

ジ

「高石市を楽しい街にしよう会」

稚 魚 放

イベント詳細は こちらから▶▶



加

料

問合先 産業共創課☎(275) 6149